

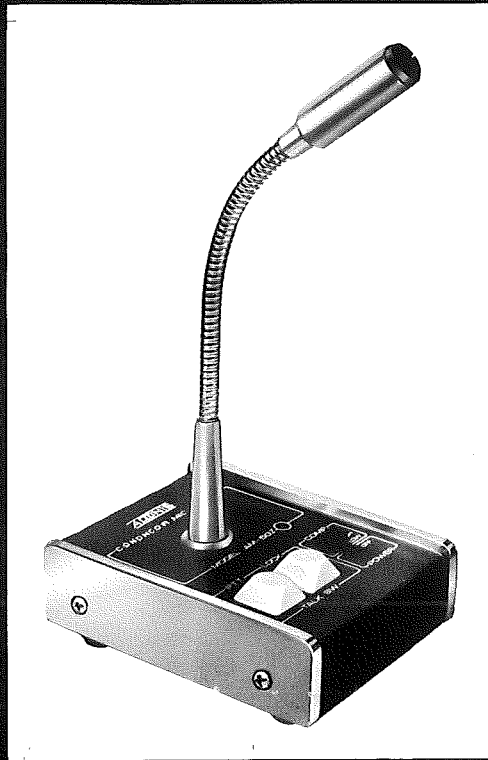
★ SSBにFMに最適変調度を!!

AM-502 固定用 コンプレッサーマイクロホン

— 実用新案申請中 —

コンデンサーマイク+コンプレッサーアンプ+電子スイッチ

AM-502は、HF、VHF、UHFいずれの送信機にも使用出来、歪のない音で、常に最適な変調度を保つための必需品です。



AM-502仕様

- ・コンデンサーマイクロホン：
IC内蔵広帯域型
- ・トランジスタ……………9石
ダイオード……………3石
IC……………1石
- ・出力電圧：2mV～50mV
- ・負荷適合インピーダンス：
600Ω～100KΩ
- ・コンプレッサーレベル：
50db以上 (High)
- ・電池：単3×2 (DC3V)
- ・消費電流：送信時……………4mA
受信時……………2mA
- ・スイッチ方式：電子ロック
- ・外形寸法：
86(W)mm×110(D)mm×30(H)mm
- ・重量：450g

定価 ¥9,800

★ 特 徴 ★

◎高性能コンプレッサーアンプ内蔵

ささやくような声も、破れるような大声も、常に一定の出力レベルで送信出来ます。FMナローバンド化にも欠かせません。FMで最適変調度を、SSBで最高能率のパワーでQSOを約束します。更にコンプレッサーレベルは外部スイッチにより2段 (LOW.HIGH) に切換えられます。

◎電子スイッチの採用 (送信インジケータ付)

キーボードスイッチの採用によりタッチが軽く、寿命は半永久的、送受の切換時の不快な音がありません。受信時はLEDが薄く送信時にはLEDが点滅します。

◎高感度コンデンサーマイク・フレキシブルパイプ使用

マイクは高感度、広帯域コンデンサーマイクを採用し、スタンドパイプは特別設計のフレキシブルパイプ (7φ) を採用していますので、使用感がFBです。

◎HF、VHF、UHF、いずれの周波数でも高周波の廻り込み対策は完ぺきです。

特約店

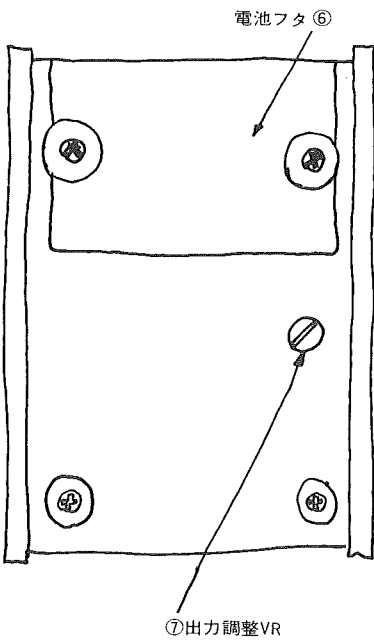
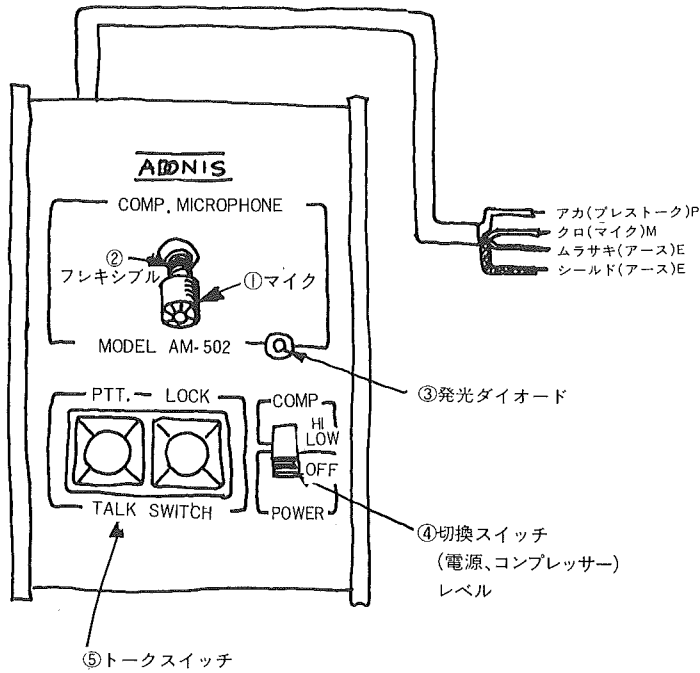
ADDNIS アドニス電機

〒573-01 大阪府枚方市長尾家具町1丁目1-10

TEL0720(57)8335-6

(通販部)

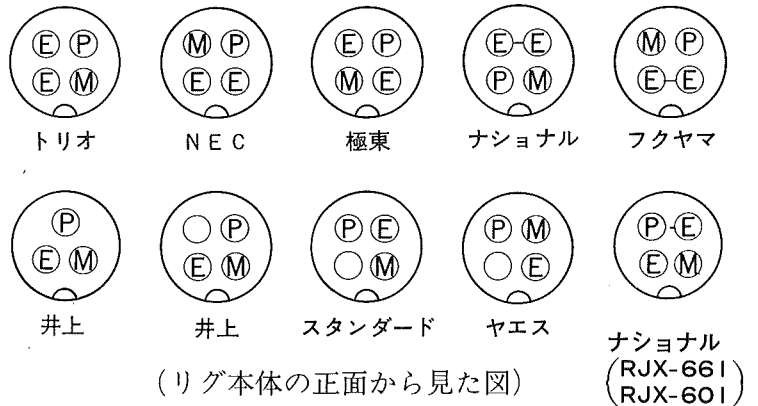
AM-502取扱説明書



(コード側から見た図)

1. (準備)

- ① 出力コード(8)にコネクターをハンダ付けして下さい。結線は下図を御参考下さい。
 - ② 裏面電池フタ(6)のネジをはずし、単3を2本挿入して下さい。
 - ③ コネクターをリグに装着して本機の切換スイッチ(4)をCompにスライドして下さい。その時発光ダイオードが薄く点灯することを確かめて下さい。
- これで準備完了です。



2. (送信の方法)

- ① 切換スイッチ(4)をComp HIGHにして下さい。(但し周囲のバックノイズが多い場所で御使用の場合はComp LOWにして下さい。)
- ② ショートQSOの時はP.T.T.を押さえると送信、はなすと受信です。送信中は発光ダイオードが点滅します。
- ③ ロングQSOの時はLOCKを押して下さい。送信状態が継続します。LOCKを解除する時はP.T.T.をちょっと押して下さい。受信状態となります。

3. (調整)

- ① トークスイッチ(5)のLOCKを押して下さい。発光ダイオードが点滅し、送信状態となっていることを示します。
- ② マイクから10cm位はなれて、普通の声で話しながら、ローカル局にレポートをもらいながら出力調整VR(7)を最適に調整して下さい。この時注意して頂きたいのは、出力が大きすぎると歪みますので、出力調整VRを上げすぎないようお願い致します。
- ③ 調整が終了したらトークスイッチ(5)のP.T.T.を押して下さい。受信状態となります。

4. (その他)

- ① 受信時は殆んど電源を消費(約2mA)しませんが、QSO終了後は切換スイッチをOFFにするよう習慣づけて下さい。
- ② 長期間(約3ヶ月以上)、QSOをしない時は、電池を本機から取出しておいた方が賢明です。